「パーノシャー」に依り其の常給を目標さし主さして

産業の安定を闘り畜産資源 改良増殖を行ふものこす

少くさも二百七十萬頭の整を行ひ優良型の増殖に努め

に

就て

怪しからかさの意見

(1)我國の畜産は其の量豐富 なるに拘らず資質劣等な力 なるに拘らず資質劣等な力 では意味あり、仍て其の資源 では意味あり、仍で其の資源

イアナ、アルガンソン以下デラウエヤ、ケンダットー。

1ーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーランド、オハイオ、インデリーを設定する。

案可决

鐵道關係法

(2)家畜の改良増殖

ロアラブ」等に依り在來種

くさも改良

さ年度の金融が慌の最展は非 く観測してこる

行では左の如

**箆脚。忽布。甜菜。** 

落花生。

米國地方銀行を襲ふ

心慌

に悪化

の飼育を聴励して農業評価。

改善並農・經濟の輻利を

闘を加へ品種の改良さ其のに付ては之が栽培に指導度

### 滿洲國經濟 (1)愚村の振興を齧り農家の六、農業施設

中谷時計店

電話三人五四

B

本橋追歷前

農業の開 建設綱

産物の自給を圖るさ共に一 、1)収蔵民經濟は農を以て其 、一、農産業 生活を向上せしめんミす。 農民大衆の福利を増進し其 穀農産物の輸出に努め以て 2)程産の改良増殖 す大豆、高樂、栗、玉蜀黍(イ)我農業郷營の基幹を爲

在でりた。食業經營を切する行び鹽業の養選を切す て其の恒久的利用を圖らむ で其の衝覆に努め濫獲を戒め

むるき共に副業經營並機械でした。こし各種新作物を栽培せしている。

少線棉年産額一億五千萬斤 (ロ)棉は栽培面積三十萬町

て斯業の登送を促すの外標を関うし盛んに農村組合制度を関うといて生産消流の改善を則し以て生産消流の改善を則し以て生産消流の改善を開いるといいません。

七、土地でいません。 (4)治水、灌溉事業等に付基 (1)速かに土地の調査に着手

機器を設置し農業移民をし 併の弊を防止 百萬町歩の開發を行はしむて十五ヶ年間に於て概ね五

(民) 贊成意見を呼陳し、嗣盟の伊豆富人氏贊成意見を呼陳し、嗣盟の伊豆富人氏贊成意見を呼陳し、嗣盟の伊豆富人氏贊成の旨を述べ、執會所會以來銀行法中改正法律案を議場さし金光委員長より經過、場合の人の世界一時間と大きなり、久山知之氏登上の仲外十件の決算に協し承諾を求める仲外十件の決算に協し承諾を求める仲を上降し前日來の質疑權務で中央上降し前日來の質疑權務で、久山知之氏登遺權務で、久山知之氏登遺權務で、久山知之氏登遺

するか ない とない とない とない とれた ひん ない とれた ひん ない とれ ない とれ

の發展を則するため左の役員の發展を則するため左の役員式や卑敬外階して盛大に大麻州正義数別階となる。 り、それく任命狀を交附せに對し主盟代理小林徳三氏よ

支部 長 部 長 孫 徐 孫 振 君 氏 氏

豫算案は

算を編成し乍ら樂觀を娶るは 就會側は高橋藏相は尨大な豫 が自興は高橋藏相は尨大な豫 電三三〇〇番

治は暗黒であつて、一般名 には苛政の悩ます別さなつ たが、湯玉崎の末席就任以 來熱河省を自家私有の天下 たらしめ、著財に便なる要 職は悉く其。族を以て占む るの外、其の他の重要地位 るの外、其の他の重要地位 を連客好色の外眼中何物もな 中客好色の外眼中何物もな 中容好色の外眼中何物もな 白は郵貨缸は姿色のる婦女であつて、黒は呵片たものであつて、黒は呵片を譲し 而して事變勃養雷初に於て は、省民は一般に時局に暗 は、省民は一般に時局に暗 が、唯形式的に學良援助が で、唯形式的に學良援助が 大なる動搖が見なかつたので 大なる動搖が見なかつたが 而して怨嗟C 蘊酸する所、 治甲背反及び蒙古民族の獨 治甲背反及び蒙古民族の獨 で運動さなつた。幸にして 一時之等の饋定を見たが可 成不安の默態にあつたとは

を開い、架勘様及軍器販長を開い、架勘様及軍器販長のみであつて他の要人は無額がにして謂ふに足らない。 湯か今日の反講態度を対応に至れるは湯の不明に基くもこより大ではあるがまいまくもこより大ではあるがよくもこより大ではあるがよくもこより大ではあるがよりではあるが、多議都千峯

に避けれてい、千葉子は呼らかへ たいといふ無がし出した。森に 一覧が金町のがに見えて来た。 一覧が金町のがに見えて来た。

なる俗諺がある、是れ場が境内に「非黒円紅不成

ことはうなづける。

流山沿

八南指

炎の妙葉あり 下熱セキ止ノ肺

音燈

鍼灸帥

勵七等

吉

田

よらく、遊んでゐる際に行かない

障害を胎すことなし

新京室町三丁目七

道具一切 神佛具

加藤葬儀計

郷京説町二丁目

の腫物は切開せずして治療し瘢痕或は機べし其の他瘍、チョウ、セツの如き一切でしまの他瘍、チョウ、セツの如き一切でサス神經痛の如き容易に治し難きものは炎治療は腎術の補足と見る可くリユウ鍼灸治療は腎術の補足と見る可くリユウ

でたいゴロム して総部を置んだ んでたいゴロム して総部を置んだ んでたいゴロム して総部を置んだ んでたいゴロム して総部を置んだ んでたいゴロ まるで三人兄妹のやらに い ではいの 「総が贈るものですか。わたし発いからに れ。ちゃア、わたし姿容勝の提生ので び際らない歌情よ」 遊ごすので び際らない歌情よ」 でなら、風分配い決心をしてるのであったりで に根談して、どこかいよいを擦してあげるわ。そんないないないな響してあげるわ。そんないないないない。 もお家へは節らないお彼り?」

するのも、やはりほんとうの親切がったのよ」 千鶴子は壁をひそめて『質はね、 とありますよ。それまで此處にち しといつたが

が、いくら 金山が戦つてゐるか

▲ 「職業和介金」 新京勢動保護會 新京勢動保護會 洋帳簿 各種製本專門 能 型製本所

座を佔む、實に滿洲の文化的開發を指導機として最古の歷史を有し、多年扶植培開として最古の歷史を有し、多年扶植培開として最古の歴史を有し、多年扶植培 社交 大哈斯大 及資訊記

師範 西田方山 柳月舍 東一條通二 東京
大協崇新聞
大協崇新聞 種 撫順炭 新京日本橋詰 **販賣定** 利

話(三十六〇番 號 D 花も實もある スマ居テシ待御 7 期なかホールさ タン カフエー カイ

スキ焼の鍋物類 刷新なるサービス関が

各種機械設置並に設計圖面 新京一の機械工場開業」 暖房。鐵工 諸機械マシンツール電氣時計後籍請員

取次電話二六四八番 申 華 前 市本 領事 館 前 長春鐵工所 電圆二六〇 亍 では非常時局 - けちをつけるは不種無だざの煮ある偽め、 は不種無だざの煮ある偽め、 いてある

凱

歌

日案

報るる熟証できる。 の常養物の様性にならられて、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、無機一般のところで、 が、 れえ、包まず、催生彼も踊してもあるわたしに、際しだてをなさるかなんて、心臭いちゃありませんか

なし無か通りいいがにつ家

でで、「そんな他人行像なことは云ひつこなしよ。それよりも、あなたーたい何感へ行くつもりなのよ」とたい何感へ行くつもりなのよ」といい。これは、かったい。これは、かったい。これは、あまり些家に長く厄い。これは、あまり些家に長く厄で、「八八里へ行くところなの」とうったはれて見ると、如何に此さら云はれて見ると、如何に此さら云はれて見ると、如何に此さら云はれて見るとは云つても、

ちょつと食ん子の多が見えか 「世路さんのお見難がやなく ないでて







お三次特盃式を舉行した。大島三次特盃式を舉行した。大島三次特盃式を舉行した。大島が組織統制の完備を関した 以來奉天市内を記域的に十个區に分轄して支部を設置し各々支部の發育式を舉けて居る 支部發育式

案の五件を一括上程。前田委の監めの債数りに関する法律

間もなく運営して芝にの古い 脚もなく運営して芝にの古い 山の窓に彫つた。 聚龍 (書) 瀧 藤

質は三浦屋 質は 三浦屋 質用 世質 は 三浦屋 質用 屋質 店 三浦屋 質店

やうだい。わたしに出來ることな らどんなことでも致しますからい

告急

速張

一百余名3分しな部より 1 附屬地華洋版館に於て支部

ほねつぎ専門会務を

東五年世界的 下宿案內所 下宿案內所

明るく温かく

新 京 木

富士町二丁月角

**新有給社員募集** 퓆 生

新京代理店 西村洋行保險部

最高率配當實行 東二條通

西 村

品

質 第

電二〇一

美人揃ひのウエータ連のサ ホガラカなホー ーピス振りを御覧いさい 電話二四六八番 力

ライオンカファ 三一一一丁目 電話二三七九番

### 駐日蔣支那公使 表呈出

日南京政府宛辭表を呈出せること判明した 一日登國通」聯盟支那代表部顧以下三名は一

# 不國政府は引揚げ等は考慮せぬ筈だと之を否定した報道に關し、支那公使館では、かゝる命令は無い、過日外交部の聲明の通り、「東京二日發國通」 南京政府が蔣作賓公使に對し引揚げ準備命令を發したとの 引き揚げ命令說を極力否定

日四月三年八和昭

 顔惠慶露都 國書捧呈後叉壽府へ

製週間滯在再びジュチーヴに向ふ豫定で クワに向ふこさる ユチーグ二日酸衂通) 器禁輸說 そなつた。額惠曼と 爾惠慶はモスクソに於て露師政府に帰書を捧呈した後。武武大使に任命された顧惠慶は本二日午後六時當地麗モ

の民意に反して紛爭に捨き込の事態を悪化せしめ米衂は八 ディリーニューの社説

二十二日「デイリ

日本軍の熱河攻略準備漸く世

際的「ポーコット」若くは武

ボイコットの效果は少いであ 英で企圖しても日本は米

源より脱、せんこする敏を、 戦況な總額するに、第四方面 戦況な總額するに、第四方面

米國の輿論耳を傾けず

京

光。はスチムソン氏の不承認

「錦州二日建國通」熱河大計 で開始以來、我軍最初の二大 で開始以來、我軍最初の二大 で開始以來、我軍最初の二大 で開始以來、我軍最初の二大 せればならぬの高米級は慎重な態度を保持の高米級は慎重な態度を保持

速短縮

な

戦史上例を見な

6

成功

一時川五分選に、

我軍の入城

でする周野なる用意の下に行っている。 の中原に再び使人せしめまい

地盤維持に腐心の學良 張兩人を躍らず to

| | 後頭|| | 番乗りを快速を利用して後頭|| 番乗りを快速を利用し

ばし、乾清韻方面に潰走する 攻イ落の陣地に振る敵を蹴飛

可能なりやを歐洲の武器輸出 氏は英米主動の下に武器禁輸 に再燃し、英國外科サイ 器輸出禁止運動は米姆及歐洲

迫い屈する

もいでな

るから「ボイコフト」の如き駆日本は四運を貼して事にぬす 主義を支持すれば足らので、

べきでない。

皇軍の熱河入

りを

(きでない、斯ろ手段は極東一はが1300年) はを担す

多量の軍需品を保有する今3 成する原因さなる日本は既に

言つてゐるが之が實行困難

ラトが戦

萬稲鱒か絵西攻防總指揮に、〔天津二日披闢鹽〕張學良は 己の地盤を固め蔣介石が學良 して何時まで學良を命を聞く銀作相を熱河攻防總指揮に任一せんさしてゐるが高、張兩人が果 接助を口質に麾下軍隊を北上一かは見ものである して何時まで學良を命を聞く

余に亘り大車列を

全連力

凌源街道

盤々一島

航軍を 尻目にかけなから一

御地は歩風の如く、零に汗を が現出された。 順除さるその が現出された。 順除さるとの が現出された。 順除さると が現出された。 順除さると が現出された。 順除さると が現出された。 順除さると が現出された。 順除さるとの が現出された。 順除さるとの が現出された。 順除さるとの が現出された。 順除さるとの が現出された。 順除さるとの が現出された。 原除さるとの が現れるとの がれるとの はる がれるとの はる がれるとの はる がれる

天下一品です

を早けて遮一無二

建國一週年に際し 所懐を述ぶ

抑測の財政は内外に於て 削除 財政の確立 關東軍參謀長 税務監督局を設けて其監督を部りら縣財政を直轄し、新に 厳にする等、其面目を一新し

1 就 百 大 平 当 5

CD

體

待つかのやうな半群

国及體納機關の接收さを了し 対職立が取りした。即ち建區 対職立が取りした。即ち建區 大間内線税に儲する整理さ海 領算が組むこさには功し、 務諸は闘の充實を計り。月次の三ヶ月を第二期ごして 年十月以降の第三期に於て 今大同元年度独算を見るに 成入機都一億一千三日三十萬 元、其經常部九千七百四十萬 五元號であり、歳出は經常部 一億〇四百五十萬元弱、臨時 一億〇四百五十萬元弱、臨時 一億八百八十萬元弱、臨時 刻下の緊急に應するを主さしして右豫算編成の根本方針は か、斯の如きは帝一年まの歌ので、勿論護分の無理がある。

治安恢復さ共に其收1 めるのであつて、諸 るち 即ち本年度

を低しつつがらが 以上に依つて満洲 あが、 が何を見に まり

憂慮するに常らない。 勝來 所であらう。 魚類算さしては已む の。国内の 四部部 を端載せる落台〇〇〇瞬長指 ・ 天馬空を行くが如き勢で ・ 大馬空を行くが如き勢で

價

第条ではない、唯純費的新建 設の資金に其大部分を外観に 水めなくてはなら、唯純費的新建 入の地加 税合して 荒の改革なのである。 海洲總に取つて質は破天 は、 海洲總に取つて質は破天 は、 は、 海洲線に取つて質は破天 鑑み、緊急にして實行可能な 協門調は建設に資金を海外に 水めら必要がある。此際我同 他のて決定するご謂はねい ならめ。日端の共榮、東亞の ならめ。日端の共榮、東亞の ならめ。日端の共榮、東亞の ならめ。日端の共榮、東亞の ならめ。日端の共榮、東亞の なられた。 なられた。 なられた。 なられた。 は他のて決定するご謂はねい なられた。 なられた。 は他ので なられた。 なられた。 なられた。 は他ので なられた。 なられた。 は他の なられた。 なられた。 は他の なられた。 映して充分ではない。従って るか此の消極手段のみにでは の逃避防衛ミに努力しつつか けるここの論である。一方備 なる技術を要する。朝民の一 なる技術を要する。朝民の一 なる技術を要する。朝民の一 乍ら此等初期計畫の質

陸軍記念日に 各種軍人會

日の催しの一つさして率づ今(東京二日砂製明)陸軍記念

行方不明中

の弟を

熱河

在住の今回の事變並びに過去を住取今回の事變並びに過去

事こなつだ

斯くて我華は最初の攻略目標 たる赤峯凌線を占城した陰で たる赤峯凌線を占城した陰で 北は、宮本の軽、凌線の二 で級中に至る皇軍の蜒々たる 戦線は、今や赤峰、凌線の二 れた、皇軍が、一度起つて熱 れた、皇軍が、一度起つて熱

案外早く

解决しやう

熱河から北平

歓喜の市民

町外れまで出迎ふ

おここになつてるるのでそれ

を追ふこ言になつてるる

事往來~

避難の支那人語る

佐か十日間、類から短時間に ・ は金魚速なる戦線の短端に成功せる事は戦史上に於ても例 を見ない割別的成功さいふ可 を見ない割別的成功さいふ可 を見ない割切の成功さいふ可 を見ない割切の成功さい。か を見ない割切の成功さい。か を見ない割切の成功さい。か 

元大連市

長石本鎖太郎氏

あるものであ

れ種々最近の調べに付いて聴き、熱河討伐の火蓋を切るご開き

ろきころあり<br />
派さ共に

河へ向け出酸の害

る所あつた。氏は多分二日熱さ述べ、原兵除の助力を求む

戦線

たご聞いたが、其奴の所在 除は何れも道を西 取りて〇酸した情む可き率撃があつ 朝陽。老虎山に進める松田師の吟弟を拉致して兵匪に手 下窪を占領せる〇〇部除並に世めて自分は弟の排はれた 動しつつある即ち赤峰方面にせめて自分は弟の排はれた 動しつつある即ち赤峰方面に 従つて熱河に入り度い決心も突止め度いので、皇軍に せんごする敗後兵に對し重駆戦に敗れて四散し凌源に突進 的行動を取つてゐる 平津地方の

「錦州」日養國通」 學良指揮 下の暴虐なら兵匪のためその 弟を拉致され、最近は生死の 報も分もね有様に、一人血淚 を絞りつつあつた石本氏の令 兄、前大連市會請員大連松山

秩序維持に

番薬の争ひ

服部々隊入城と前後

河原部隊も驀進

日嗣係者の打合舎を得いたう たが學校並 一 一 一 親祭を終け

李烈鈞急遽北上す

本年四月一日より明校する新京した有賀崎磯県務課長は、 京した有賀崎磯県務課長は、 市保長らご協議のうへ11日これが

へ。直ゃに建築型編に着手し本年度中に基礎工事全部を終 るこさになった 間敷眼は現在の間東軍司令 部官舎南西方。長端街道に 沿び戦道線路を踏切ったさ ころで總所積近萬平方メー トル(凡を) 萬三千坪)等宿 舎はそ小附近で新京駅に近 舎のたきころに同時に建築

現在の司令部官舎南西方に

常介商業単校内を

◆ 問傳級 t(奉大市長)同上 ◆ 問傳級 t(奉大市長)同上 ◆ 問申佐(司)同上 ◆ 問申佐(司)同上 ◆ 問申佐(司)同上 ◆ 問申佐(司)同上

新京中學校の 敷地全く決定

あす關係者打合せ

本河本編鐵理事 二日年前八 本語屋工兵大空(司令部付) 日午前八時以十分ハンビン 日午前八時大連へ 全職大級「韓天省長》1日午 前九時奏奉天へ 全職治近(音林省長)1日午後 小上連事 同上 本明書氏(音林省長)1日午後 本明書氏(音林省長)1日午後 本明書子(音林省長)1日午後 本明書子(音林省長)1日午後 本明書子(3百十五名(朝鮮 本明書子)11日午後

本収場漬け込みの澤庵も愈々本統の味が付きました質に 大景品付大賣出

賣出數量 小樽 大樽 壹 正味四貫五百匁人正味拾七貫入

壹本 景品左記ノ **参本** 壹 ~二付 上等羽根蒲團 壹本二付 中等羽根新團 壹枚 (價格金三拾圓也) 特撰羽根蒲團 通 (小樽一丁二付 壹枚 壹枚 (價格金四拾圓也) (價格金六拾週也) 景品券壹枚)

等等等等 等 二拾本 意本二付 貳拾本 壹本二付 五奸牛乳祭 壹枚 價格金參圓廿五錢) 參舛牛乳券 壹枚 (價一壹圓九十五錢)

期間自三月一日至四月三十日 籤し即時兩新聞にて發表致します日品は同時に御渡し致しますは五月五日にして警察官及新京日報新京日を新聞記者立合にて 千鳥町四ノ四

電話二〇八

平明人公正丁。

東アステスと

んて。何等の奇抜さい 唯茲に一言したきはた 大網は略々推測し得るさ思想さして進みつつあるが、

① 九、

・併し年6 さら神味を 設に落膽さ

に對し強き後援心を喚起するの念を操ぐるご共に一般民衆の念を操ぐるご共に一般民衆

は東南よりトラック隊を先 間に凌仰を攻器目標に前進し これを陷入れた これを陷入れた

中に午前十一時卅五分米山造町はで、大月空焼を掛け、遂に四時代大月空焼を掛け、遂に四時に突入、城

南部族を掲げて皇軍を迎へた部の要地凌娘も完全に我が手

天地を払いす。かくて熱河中戦闘街道から突人、歓呼の壁

た位で、又京津地方民の反撃 石は態々郷良に其事を忠告し 部下將領の反感甚しく、蔣介 腹を胞やしてゐるさいふので熱河間組を餌に軍費を集め私の僅かの一部分で殊に今回の熱河間組を餌に軍費を集め私の値がの一部分でなに今回ののが、真に

である単良は軽介石の手に娘 つかるやうに見せかけ、保定 かだれ

五十圓を明子荷物係の標上に置き切符を求める中標上に置き切符を求める中で、 一百余圓を評手荷物係の

1 2 1 上午個八時三十分山 新京時間内で同九時幾南行 の単を待台中所持の赤皮製 (銘仙)との他政節呼慣日余

●日本被単五十八自動車運動
手城・直方へ三コ午前一時
環側等か浸入し嫡洲中央銀

個五国の来断一足時借十国 自宅的におきある無特靴: と時間七国黒編十靴一足時

平には南北に亘り約十キャの つて前進中である 東南三里)を貫走しつつかり 既設陣地あり、松田左蹤はは

實に一ない無層で

▲梅ケ江町四丁日宮崎県房店国を見舞はれた

を窃取された

つある棒様なるもその後の情で無に風を喰つて逃走しつの急進に風を喰つて逃走しつの急進に風を喰って逃走しつ

學良自動車

唐律にて一寸待て

態々米國に註交したもの

中內富士町三丁目限田重夫

### 襲來千五百戸は流失 災起る

東京地方に近來稀な强震あり被害なし、 東京一日發國通至急報」三日午前二時三十四分十四秒 震動は弱震性質緩、震央は福島縣塩屋沖で へ飛出した、中央氣象台の發表によるご最大震副四 寄せ釜石では流失家屋千五百戸、火災起り三百戸地方も强震を感じ、釜石地方は午前三時津浪起り なほ延焼中 熟睡中の市民一同 關東地方

通ごなったが電信線は被害なし (以上號外再錄) 京仙台二回線、東京郡山一回線は地震のため故障を生じ不にして詳細不明だが全滅に瀕してゐる模様、電話線の中東岩手縣下宮古町では二百五十戶流失、山田方面は通信不能

關東震災以上に强 押寄せ漁船八十隻。 行方不 暫く散歩の後船室に帰り

しは

変源城頭高く

股走する敵を猛。こ攻撃に建 で、大道隊は後種部隊・凌源を り、大道隊は後種部隊・凌源を が、大道隊は後種部隊・凌源を で、大道隊は後種部隊・凌源を で、大道隊は後種部隊・凌源を

け遅れた敵匪に機銃、迫撃砲泉の中間四道衛の要地を占領し引動き追撃中

議を提出した 強の死刑宣告は失常ださの決 強を提出した

部國際四

(東京二)日發臨州)

生產黨抗議

當

ある、自分は無届女給のあるこさを充分認めてもるがるこさを充分認めてもるがを用や自云こさは出来ない

盛場を中心 コリ泥が横行

るき間

他ある模様
他ある模様
・明常の単不通。附近民家約百明。列車不通。附近民家約百

死者三百名に

枚。同一圓八枚を短寺前内で「選聯正氏が二日午後四時で「選聯正氏が二日午後四時で「選聯正氏が二日午後四時で「選聯正氏が二日午後四時で「選聯正氏が二日午後四時で「選聯正氏が二日午後四時で「

の着報によるさ地震被害は左【青森三日建誠消】運輸事務

市砂津町南山越町櫛田福 本重三郎氏が柳行

福島同、山杉弱震、水戸同、の弱き方、石卷飛震、仙臺(東京三日菱関浦)盛岡磒震

震度

館山稲震の弱き方

滿洲國官吏

熊谷強震の弱き

執政の

御日常

諮執

中島此多吉

けるの屆出が五件

よりの債祭に依わばに向ひ倒進中である **砂しましてい内外**観 

柄にも拘らず。巨額際の如き御手許御不 御问情を の類ないの数では、 **他陝西** 茂木部除の追り効を奏し敵を 増削れ…髪を容れるを許さぬ なる英姿を仰ぎ見て今までの

仰になつて居ります。先般執

ショウ

變らずの

だが組末なものであります

四元首の報告!

100、同夫人は深洲屻々の内に金五十圓の答贈の内に金五十圓の答贈

山一丁目一、戸谷マ

き執政府から内地及全域に左の如き内容をラジオで設別回執政府中島諮請は執政日常の御生活模様に就

吹雪の街道を 目指一

りの観測困難であるが縦隊の部は猛烈なる吹雪で飛行機よ却してふる三日朝來熱河省南部は猛烈なる吹雪で飛行機よ 皇軍の飛行機に 一一千三月下交戦中

(錦州二日登城市)茂木部除より目下液取中さの料に接しより目下液取中さの料に接した場際は八木機を光頭に銀纜を連ねて北根、午後零時十分ブロベラの爆音康じく赤棒の上でに偉翼を到した我が空軍のから、中で、 赤峰の敵一齊に退却 「錦川二日養殿所)皇軍の花形愛認號及び〇〇機は本日早朝GOより赤峰に向つて出動関いたが敵は敗走しつつあり、大木部除さ相呼應して之を撃滅したが敵は敗走しつつあり、

「赤峯 | 日鼓崎浦 | 茂木部除 | 本に逃亡し既に家族も引むけたれ | カミするもので、湯に既に北 將なき馮匪 烏合の衆 れたさか、又は窓真が出來 権者の承認教等の到着が選 し述べるときはない

で徳を中心と 兵を集結陣地を構築 激戦展開せん

六十の一願は青空詩(老虎山)、双廟子より退却の敵の騎兵在と、現却の敵の騎兵在と、

赤峰進入の詳報

建平には

十キロの陣地

敵匪の總計八萬 一たまり \*

より全線に亘つて動搖を始めたこ見るや、先づ中央部より 関連し、次で最有質も總尉れ に算を亂して市街に亂人、手 富り次第に商民から掠奪しつ つ市外より承徳街道を挑楽圖

附近にて 北意營子

師を撃破 服部部隊十九

哪宮附近には堅固なち陣頭を四築まで。承徳を中心さする各主要道路は敗走兵の往来を陣地の構築で鼎の湧くが平泉。承徳の中間六溝暗近は特に人馬の往來繁く敗走の兵は刻々承徳附近に集結し。承徳郊外に在っ清朝時代の【凌源二日發闞通】凌源を追はれた學良正規軍は承徳に向ひ縁退却をなしつつあるが我が○○機の偵察によれば 里要作戦の協議をはしつつあり、此の 大抵抗を試みるは當然で で承徳に入り、 るが は堅固なる陣地の構築を爲して居り、之等支那軍敗走兵は兩三口を かくて承徳附近に於て一大敵戦展開されるものと見らる 情勢より推して見るに彼常は、く敗走兵の承急集局を持つて最後の の激勵市報により、同地の湯玉麟と卓を開んで 軍總可令張作相及び、 結すべく、その數は八萬に達するものと見られ に達し、同地に在つた友軍と合隊して各要所にを打つて承徳方面に向け退却しつつあるが、そ 一大勢力を有する馮占海

献すべくも無く。 午刊九時頃 で 15年 で

大市民は。ほつこ一安心の態

(錦州二日餐園通至急程)服部部除の主身は昨夜より今朝に亘り北章営子附近に於て第十九師を微戦を交へ、畝に多大の損害を與へこれを撃破したが、此の戦に於ける我軍いたが、此の戦に於ける我軍い

ので食平を欠いて はいない たとだがこれに

出所から申合しないでめてれたは他の十四名は所轄版

川原部隊急迫

佐郷屋の死刑

四道嶺を占領

占據、城頭高く大日章旗を翻へした、將士の擧げる歡呼の慇熱河の天地を搖がす(凌源二日發國通) 服部部隊米山の先遣部隊は本二日午前十一時卅五分凌源を 日章旗 歓呼の 鬱熱河の天他を搖がす 服部部隊米山の先遣部隊は本二日午前十一時卅五分凌源を は飜

I

界

の波紋

るものの如くである 阜新の協洲國軍

結せた満洲戦軍は前面の敵約「錦州二日發戦派」阜縣に集 輸進は豫定消り進捗しつるあ 交戰中 敵二千ピ

原警察署保安保か公平を欠ぎばるや、各營業者は早くも新版か一見市内カフェー界に傳 の不法に動し色を變へ 一慎低 と持起した 既に貴紙を見て知つてゐる。 臨險の網にかりつた女給は を無法に無視した際ではな

並に同十八名←雁土に紛し一 様の方法を取らなかつたかさ 様の方法を取らなかつたかさ 機動されたここに動しては きは申釋がない、自分等が 私等が雪点の指令に從はず

封日 生物魚

近川宇禮雄子 銀子

**共齊**伊達里子 寅夫

情の一側面観です ユーモフのにも青春の香り高き友情いシンフオニーです若き日の野かな感 小津安二郎 監督 印高 梧原作 仁俠や 下加茂三十大作の一つ

くざ 廣瀨五郎監督 道 共松管竹

名畵の合唱。春は御婦人から等。醜い美を求める人々に三世贈る小津の真の東京の合唱。春は御婦人から等。醜い美を求める人々に三世贈る小津の真の 靑春の夢 ま づこ

営業者側の言ひ分 如く十八名単けられてるると他の一軒の女給四名が協調されることは 滿洲及日本社 新京支社

△和泉町二丁□一三、號非勝雅一 △和泉町二丁

どう見ても不公平だよ

事實は

?

一月七日中和四時廿分出生 ○吉野町二丁目一二群貨 間大 庭源七 長女以子二十日午 前四時半出生

「唐津子で取過ペーの所乗用目 記十臺以下の處置につき縣雷斯」を引き、トラック十臺・積載 局き打合中、 「唐津子で取過ペーの所乗用目 記十臺以下の處置につき縣雷車二臺、トラック十臺・積載 局き打合中、 右に就保安係門用警部補は語 自分等さして徒に女給に耐 し歳罰を加へるこまが能で ない要は當局の取締に動し 違反がなければよいさ思ふ 今回の歳罰は司法係でやつ しい話を聞くさ精養軒の如 ・ は低国女給が四名もあり ・ は低国女給が四名もあり あつてほしい 5下長者は頂からく公平でなくさも私等取締の役にあ 一考へ こですすい たこさか私等さしては一寸 が屆出たがそれでも何等臨 落度はない

一應 公平な歳置をして

さなつたので

五细全白

堂篮鱼

なかつ

小干ヶ谷襲撃に移る様

がでに、暑氣のために、創傷 をはかつがれて、開道量ひに まてかつがれて、開道量ひに まてかつがれて、開道量ひに はないのは、この時、

用期間三ケ月)では、神戸間楽器切りである。神戸間楽器切りでは、神戸間楽器切りに、

引、汽船一割引、

途中。暇きつ

が何に勇

稀有の大才を容

新京出張所電話四〇八十番 電路四 三七番 電路四 三七番

三笠

町

二丁目

曾我廼家

電話二五八八番

日

日

京

なら、だだちに、これを合いせ、米澤藩の大軍が到着しいせ、米澤藩の大軍が到着し

放せフーー

敷

戸板の上に仰臥しなから、 時々周園の者に、戦况をたづ なる以外かたく口を結んで。 うめき録一つ難せぬが、足部 の質傷は、思ひのほか重くお びただしい出血の結果顔色蒼

似の上に仰臥した

紅淚双

勝ち誇った有兵隊セル、た

着荷案內

本意大郎 鳥久緒

豊作

(0|11) 凄: 艷

始等は。 わたつて、 の安泰を

知何に猛くさももう防戦の力意に同盟軍に接及りうつて。意に同盟軍に接及りうつて。 西軍に加入した一事である。 一一すでに、線師傷つき、兵また接撃の種にある長岡勢のは、不

○一白の人 細心の注意を排 ひ努力する時は母展を見る

一丁 野

電話に対す

日四月三百九月二百

紅玉リンゴ(自自金土)の 第人のモノモアリマス

季節に應じ

たんぜん綿

破格廉質致し居ます 蓬 菜 町

れ開店名弘延築何れる凶 時節到來の日起 れに向ひても のき注意の日

7

中籐椅子各種入荷

りて意外の利徳を見る日紫の人 思ひ掛けぬ援助

九土邸己巳佛城平柳宿 大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行 (毎偶数日午前十時出版) 中米利加丸 三月 六日 市米利加丸 三月 六日 市米利加丸 三月 十日 はるびん丸 三月十二日 音 港 丸 三月十二日 古るびん丸 三月十二日 古るびん丸 三月十二日 はるびん丸 三月十二日 はるびん丸 三月十二日 サストビューの

(通濟運輸公司) (通濟運輸公司) (通濟運輸公司) 新京中央通十一番地 D

お一切迅速確實に取扱ひ致しますから御 一切迅速確實に取扱ひ致しますから御 扱を致しますから御御旅行者及一般の御 行者及一般の御便宜を計る為左記取りますから御利用願ひます
物の蒐集及代理託送
の関集及代理託送

横山洋行支店 電話三八三一番

本通り四十六番地 12

級高 7 力

御薬の御用は

是非御電話にて

二六〇二春

吉預叮二丁目一番地

東亞號藥房

是解除品 レビアン受信機 七球式

登商行ラヂオ部



軒 養 精

通條一原 五人一漫自櫻

長 崎 カ 命牌拜受の人類の店 り高 ステ ラ 草

ج ŋ

電話三人四二番

香

● 晒よ

營業品日案內

新京日本橋通七二

+ 5 の助魔も旅な快騰 安足袋の無恰好や - 3

三笠町四丁目十四番

及及

、錦の鉄風に

の人きな

會株

大阪市

區

備支

町二

京中央通三六

戯光紙と焼付

和無陽書感光紙

大 同 發 賣 元

電配二九八日

工業寫眞株式會社

支 店 大速市祭町四 電話三一一六番

測量器械と製圖 社式 內 本店奉天千代田町三六 田 洋 行 用品 出 張

いて來た、此の力が日本に

統制をは之を政府の事費さす 統制をは之を政府の事費さす

す 行かなければ政府にそれ文のに 本事業の成否に置に議洲國の 成信面目に顕はる問題である 放に、先づ最も理想的なる而 して最も良く漢洲の民情に即 して最も良く漢洲の民情に即

い。阿片の専覧制度を收入

係約並に観察信義を 係約並に観察信義を よりの米級招請を拒否する よりの米級招請を拒否する 中否やは言明の限りで無い が、日本にして観際信義を 臓守するに於ては列嗣この は解析したのではのであると

職盟は今後満洲問題を如何 に終るだら、規約の修項に に終るだら、規約の修項に に終るだら、規約の修項に を熱心に主張する者あるが をれば全総誤してある。 日 本は現實に重きを置いてる

聯盟脱退に對する

の評

×

英米輿論の動向

テレグラフ

平和論者は断然日本に對する 強硬手段を主張するが、吾人 は斯くの如き遇に引入れられ るものではない、彌洲は日本 の生命線で、港し彌洲が 無政府状態さなるなら、忽ち にして他國の併呑する所さな

利に轉換したであろうア受け入れたら流洲問題も

日本に副ひ得たであろう

的見地より職盟機構の映路を定だが事務的に拘泥せず政策

を演告すい而して政府は脱 題の時期に到達した「後こ 題念し、観察條約の義務を 即等化來の外務政策に變化 を演告すい而して政府は脱

るを喜ぶものである。各図

て日本を監視せねばならぬは牢固たる態度で忍耐を以

の事で、昔なら寅戦布告に聯盟の今回の採擇は未會有

指摘するる

個府に 諮詢する 脫退通告文要旨 定 價 一 截 全主值 第 稅 一個月 全八十組 新放未鄉町四百日一個租 新放未鄉町四百日一個租 報第三二二五十二三〇〇日 發行八 十 河 榮 忠 編輯人 松 本 房 印刷人 谷 海 啓二郎

電話三四二番 部

為替管理案

を考へねばならぬ所謂禁制品 はの破壊的大打撃を將来する事 の の中にけ綿織物毛布、靴、貨 自動車、ゴム等を含まれ年 関易は5

政友會は承認 なるので、馬車場的抗日策の の當め輸送する様、命令を發 の當め輸送する様、命令を發 の當め輸送する様、命令を發

(北平二日曼國油) 北平軍事 電局は開魯。北県、朝陽各要 開途を憂慮し日本軍を極力防 守せよさ迎日第一線軍隊の徹

局狼狽

平軍

其の権限は勅令を以て

六日の閣議で决定されん 若し之を實行するこせば日支

但し附帶決議付

學良もまた

増援隊を派す

本明純益並 未决算項目 三

五十五圓七月六分整

め、爲替管理委員が組織す主務大臣の諮問に應ずるた本法施行上の重要事項は、

央軍を増援 意を決

師及び騎兵一ケ旅を北上せしむるに决し、已に二師は昨の崩壊意外に早きを知り、これが增援の爲め中央軍四ケ〔南京三日登39〕蔣介石は熱河万面の形勢益々不利となりそ 關內敗走兵 一日までに南京を出發せ しめた

團匪賠償金支佛ひ 支那一年延期 〔天津三日發國而〕 國民政府 監視のため では常初より對日熱河戦に三 ものあるも。一 敗地に登れ ・ で してるただけに今次の ・ で してるただけに今次の ・ で してるただけに今次の ・ で してるただけに今次の ・ で してるただけに今次の

に通達す ものがあるさ

出を見越し、大兵を再び敗將郷良か日本側の陽間

全(忘れられてしまうのである、余は先年臺灣に版して、 を(忘れられてしまうのである、余は先年臺灣に版して、 を排みにまで及んであのを見て其だ不思議に思ふた事がある、總督府は阿片の嗜妇を別たのを見ないが、酒は人體に書かるるれてしまうのであるのまして場校教育に於て八 記文は聯盟から抗議を受く のである。 又、日本内地に於 は空草までも製造販賞してある をうである。 欧米に於ては 原草までも製造販賞してある。 のである。 又、日本内地に終 そうである。歐米に於ては 大煙草喫飲の悪風は近來特 おい婦人間に非常な勢を以 若い婦人間に非常な勢を以 おでは未だそう甚だしくは が、云ふまでもなく。煙 は、我が邦に於ては法律を が、云ふまでもなく。煙

本和維持機関さして聯盟は 中和維持機関さして聯盟は 中の位な、價値あるかさ日本 は今回機戦せる形なるも、

(十二)阿片專賣法を其の目的 関片の生産より煙膏の製造。 其の取引、配給次で之が消費 に到る經路上の各部に對する 希望は大體で速の通りである 次に然らば統制の一般方略。

れる皆での目的を選すること は出来なかつた、之は一に政 ためであつた。政府の政治能 力は源弱で之を押し切る力は なかつたからである、今端州

切の行為をな

滿洲國

0

和諸遺に対し、財政難を理由たの程、外交部より、在支大の程、外交部より、在支大の関、外交部より、在支大

み成は對日ボイコットを貫す ・ 一年間延期を加速して來た、 ・ 一年間延期を加速して來た、

阿片問題

醫學博士 久保田時光

新く阿片は非常に危険性を有 では、同じ事 では、では、同じ事 では、では、これを統制する にしても全く別の考を以て進 はなければならない。即ち輩

要こするに従って次第に増量を必 同じ機な關係さなり。 こなし には一日も平安に日を送り得 ない様になるのである。 こなし 念に廃止すれば、所謂禁止現 念に廃止すれば、所謂禁止現 それは阿片に嗣する充分なる の職を持たぬ人の云ふこさで のは日を同じうして論すべか らざるものである。なるほご 酒も愛用に低つて増量を来し 慢性中毒を起すものであるけ れきも。阿片の如く惡性では ない、阿片の危險は乙を慣っ

質制を立案してはからない。 同時の変して差してはからない。 をれば、質に悔を後世に貼するない。 をない、若し五の観光の観光の経過するない。若し其の制度は極差を企圖するない。若し其の制度は收益主要に関めて進め、人類主義に則りて進め、必ずや職者の如く不健全なる。若し其の制度は收益主要に設くべかりざるに至つたない。 をごうであらうか、後世、確立しており、一般である。若し其の制度は収益主要がある時間に至れば、ののであるに至つたない。 とでうであらうか。後世、確立してある。 とですであるすべき制度を確立して表し、とが遂行を貼すべき間及を確立してある。 とでうであらうか。後世、確立してある。 をごうであらうか。後世、確立してなる。 をごうであらうか。後世、確立してなる。 とでするに至つたない。

駅中同月に比し二里職賞 前 月 を 一〇〇トス

100-12 100-12

●大連歴台向 お願念記

※ゆる第百十二師の二團は現 ※ゆる第百十二師の二團は現 ※中、凌雨、凌雨等の暉地を 重要就し此等久暉地に軍除を 重要就し此等久暉地に軍除を が接し日本軍に一大抵抗を試 みんさしてるたのが飲の如く ならず赤峰凌陽母次いで陷落 皇軍占領の称に接して切齒扼 がいた果急に接近幅に出動を 昨年來急激な人口増加さ市中で好成績をあけてきたが殊にの工業者の小口金融機関さし 合の業績 新京金融組 てあるが擔席責任者の談によ 二十八圓さいふ好成績を示し 二十八圓さいふ好成績を示し

熱河援助に派遣す

洲中銀總會 决算報告其他可决

新京に於ける

總裁演說 液仔金

一年であつて萬事創設の際で 中年であつて萬事創設の際で 中年であつて萬事創設の際で **轉するものき見るべきである** 結果を齊もすに於てけ漸次好 うさ信じます(未完) 貸および公開市場政策が

組合を利用するものも漸次 関本の財態で進めば解氷期 に入れば資金の需要も相常 に入れば資金の需要も相常 をもつてゐる譚である 輸途に對しては相當の即 千八百零八圓六角二分整 一國幣三萬圓整 塡補缺損率兹將本期純益分配如左 以上兩項相抵國際三十六萬二本明總損金

一氮幣一萬圓整 分配紅利平 网幣一萬七千八百零八圓六 紅利(週年六厘) 五千圓整 股

若維に遭遇致して困ります。 図めるこさは出來ません。更して居り未だ復嗣の曙光だけ も英雄は八、九月、佛婦は七月、米如は八月に於て僅かに 内、米如は八月に於て僅かに 内、北のは八月に於て僅かに 本で答轉して似落を示してる あ、また貨幣制度の欺より見 る、また貨幣制度の欺より見 界的財界不況の影響を受け産有する策隣は本においては世 くほか著しき金の偏在に悩 第三回 第一回

建101台 七大五四三現 月月月月月物 限限限限 | | 章号 | 章 四四四四四四四次 四十七圓一角四分整本別總益金 同利益金分配 数二 天四、600 三二、三六、三三 二二、三六、三三 一、三元、三三 は好轉の道を示してゐまい。
米、佛さもいづれも十一月迄
史に昨年下半期においても英 大戦後の創痍向ほ癒えず、外 が武譜國は勿論米國においてす の戦債問題の解决困離さ未合 有の財政離さに依り未だ財界 有の財政離さに依り未だ財界 致したのであります。この間
致の少く。導う経濟の整備に終始 八ヶ観の昨年上中知貿易 別年同期に比し三十四

オブペ ムロゴ 1110 ラチル印 銀塊及爲替 

錢豆 fi 大連株式 短期 云谷

现物 二 50 川來高

▲阪神日米 爲替 1回 10%分型 10%分型 ▲阪神日英為替

新京市况

一、騰高品目(調査品目六十 種中前月に比し脇落したる ものを掲く)

| (2) | (100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 100°0 | 10

第一回

カス(八分七厘)角砂糖(五分割)麥酉キリン(一割)ツーカ五厘)麥酉キリン(一割)ツー

(1割O分八厘)清網白菊正 宗(七分七厘)5巾(六分七 厘) 猫嶼綿(六分二厘)米炭

煙草、ウエストミンスクー 石油・学印(一割二分三厘)

н 六五四三二現 平月月月月月物 平限限限限限

に依り調査するに其の概要次が消息に於ける昭和八年二月分

二月分小賣物價涼報

關東廳調查課發表

四和五年一月に比し指數九二、三即ち七分七厘下落四和六年十一月に比し指數九二、三即ち七分七厘下落

之三两六00 之三两六00 之三两六00

▲大連上海向

◆大連特産

各地市場

先氧現

大阪県原東原東京の一大阪三品大阪県東東京の一大阪三元の一大阪三元の一大阪三元の一大阪三元の一大阪三品

海外經濟

原攻撃の配備はたの如くであり、協外三日韓國通至急報」昨

血みごろの宣撫員

土化を待望せれ、一時間の後の製

謝の辟を述べ賀軍閥批政を訴

絶ては心からなる感

一本人 の年 枝量 一本人 履歴並に努 一次る際だが食事は泊り込み で連動ごを問はず傭主で支給

隊配備狀况 凌源占領部

刺腸を出験し同夜葉柏霽附

「対場」 日登號頭」鈴木州除で方の熱河工作に就て左ので、

| 別無に路傍演説或は| おいましま | 日し皇軍及び満洲観軍に對す

世代本語の手傳さか看病或は難用さかで一時的に女手を必要をする家庭のために余力のある婦人を世話しやうさいふのから見てこの計消は各方明より大髪な数びを以て迎へられ事務調站に先立ち早くも申込の家政婦會なごも違つて言語を喜ばせてゐる。

を以つて 凌源に向けて前に宿營の後同地出穀快速

等、関ひつつ戸軍間す時を利部は二月二十三日鈴木部縣長部は二月二十三日鈴木部縣長の大使を得びし縄東軍宣撫班の一

(8

名負傷

部隊の一等兵佐々木等美、北日午前二時頃獲柏尋東北方約一キロ南勢子を占領『際長瀬

千に對して一齊爆撃を開始し を棄てる密集退却せる敵約五 に地上部除さ協力せる八木編 に地上部除さ協力せる八木編

家政婦の周旋をするこさにな 税金を決定し即日實施これが 機能すべく三日いよく 取扱 では近年務取扱ひを では新

を負ふた

曜

長瀬部隊の

瞬の身邊もまた危險に瀕して水徳市中で掠奪を始め、湯玉湖のわくが如く、之等敗兵はよりの退却兵で大混亂 陥り

除は一日午前七時券泥島子の部隊の前衛たる田中部

(朝陽西阁方約1里)附近を出酸した 四。〇部除の主力は一日太平 房に宿營二日拂瞻同地酸〇

敗兵掠奪で

我空軍の勇

承徳は大

混亂

湯玉麟の身邊危險

「錦州二日登頭通」 未案の空車に参加木葉微塵に敵軍を粉碎し茂木部隊の赤峰占領を早め殊動を樹てた『防長』 愛製地地に帰還したが左補助翼に設備したが左補助翼に強軍一翼を見舞はれ久勝野曹長操縦第〇號機は右上翼線に低ても兩機が如何に勇敢猛に低ても兩機が如何に勇敢猛なる活躍をなしたがが知れる

またもや

天然症を

道北散步關十八號朝

カしつつ顔後に向い前進し

### 似に優先させよ 新時代精神に基づい<br />

株の中。其半分三百六十萬株とたるよして新株七百二十萬の八億圓に増資すること決定となる。 するらしい

軍は傳統的精神に基いて上下なつでゐる之れに就ては關東 を補じ次の如き弱き主張を持 6注目の的に

の配當以障もあり金融界のし、然かもこの投資に吸がし、然かもこの投資に吸がこのはであるのは、の配言のは、の配言のは、の配言のは、の配言の、の配當以降ものは、の配言以降をは、の配言以降もの、の配當以降もの

では多数購ふるの及び海株では多数購ふるの及び海株では多数購ふるの及び海株主が優先するから永募さ云つても少数株を買ひ得る人には結局之れを買ふ機會がないのである。 従來満洲は、日本朝民の生命線で施って 中の線の確保培養に置てられるのである。 日本の一般 般民衆の資力にも限りあるては別問題だが、但し一ては別問題だが、但し一

を以てこれのみで獨占せ

熱望する處である、 雅ほ大 りない處は大中資本家が補 りて観家的に必要な議職の ので観家的に必要な議職の

| 10日代 | に就ては前衛増資の外別に満洲の産業職後には稽は幾多有利にして緊要な事業があるからを開始者の外のでは一部に対して

一見地 一 戦争者の転株は優先的に一般民衆には 現況から見ても

電社の問題は相互に微妙な 情報所株の募集方法さ投資 管本の特性を矛窟も、之れ であに必要な投資ご新時代 であに必要な投資ご新時代 であに必要な投資ご新時代 であに必要な投資ご新時代 であに必要な投資ご新時代 であに必要な投資ご新時代 であに必要な投資ご新時代  はたる場別の産業用数のほかすることが目下の急務であるさ信ずる。この 投資に 雷り 大資本家は敢て配當の保障要求本家は敢て配當の保障要求

店舗い如き靴ドー足さへ無く ・ 電城は皇軍人城まで輩司

及び經濟復活に主力を注言自長に當らしめ先づ治安維 以て商務會長高明清をして

強奪振にて蒙古風に吹き荒さ

旭光を背に

隊長赤峰

「赤條三日登越通」茂へ部除 本部の赤峰入城に引縛き○○ 主力部除る昨夜より今朝にか が積々入城、○○除長は今朝 流か東よりさし昇を旭日を背 に資ふて成風堂々赤峰に入城

長も本部隊

「動々たス偉動を樹てた茂木」「赤峰三日發調薬」赤峰攻略

健兄の意気を見

蔣、張關係惡化 

北平軍事分會移駐

# 人都萬能(三)は去月二十五 日発熱し二日午前力時空&死 亡した、屆出により新京總領 亡した、屆署では直に保昌並に防疫班を急けせしめ附近一帶の 交通 無断ご共に四月二十四名 の検病部 月個調査を行った。 日報き機 

「北平二日養園通」熱河問題 い展開さ共に蔣介石張興良間 い展開さ共に蔣介石張興良間

市民歡喜して迎 意氣 電話機着く 受付は四月か

め人口の急激な増加に伴ひ日のた長春が講別のの建國によった長春が講別のの建國によ 用必要 近く工事に着手

鬼 月五宮個の自働交換機械 鬼 月五宮個の自働交換機械 るたらっ、そして果して右 受付けるのは四月以後にな 般の密附戦話加入の申込を 應じられるがも現在5ミこの内何合位が一般の間めに 月は要するから早くても一の言思はれる工事に約一ケ 中に工事。を開始されるもはすでに到着したから近日 一電話一を増設して

を伴び斉班死力を 数して復活を大の保証 せら常城 られた悲 新作品書 開期三月四日五日

無権せられる 電線氏の行動宣相会つものさ 電線氏の行動宣相会つものさ 年後三時OCOO司令官入 縣民 奉って京々 

の艶魔なる美人を併せて二十 数點並に自作品を以て三月

者には即時分譲する答になつ 者には即時分譲する答になつ て居る 處罰さる

樓主ご酌婦

事笠井サエ方抱へ酌婦小夜子新京城内東三馬路科亭二見樓

八日新京領事館警察署で拘留に世八日忠はられた。なほ同地主党井サエ(四)は科科十回 事水谷 リエ(図)は去る二十

新京聯合婦人會では桃の節句に際し病床に臥せつてある傷病兵慰問のため草もち、櫻もちを御持夢午後一時から巡に慰問に出かけたが、これを聞いた、ちごりの藝妓さん達十二名も「あたい達も加えさして下さい」を進んでこれに参加手踊り、三味線に心からの動間をなし午後三時半傷兵績

姐さん

雲隱れ

前借を踏み倒

同上

場。同二十一。二十二月日

十時迄會場大和ホテル一階版日、五日兩日午前十時から代

足狸に引上げた

新京北門外東三馬路科亭二見

るが新京における稽古は左の 教師篠原義雄氏は近く來京す 劍道稽古日 孫國劍道 

京電話課主任は語る

が 前中では色々の噂もあるが 電話の相場が暴騰したので

三月七、八兩日商業轉校道 全満大會は 押方を願出た

來る十日開催

商業學校講堂で

▲パー上海が君子開店を時は エロ女給さして新京の助的連 をノウサッしてゐましたが成 東 四日北西の風景後畑三日の氣 温崎高十二度六、最低二十四

今度本計轉動を命ぜられ離ぶするに當り 全度本計轉動を命ぜられ離ぶするに當りて赴任仕候行李匆々の際作畧儀紙上を以て赴任仕候行李匆々の際作畧儀紙上を以て御挨拶申述候也

## 四平街の余寒

カ末だ不明である

揮ひ決議をなしたる上宣言文

西本願寺執行可仕候追而葬儀ハ途中行列ヲ癈シ本日四日午後三時祝町於四十分死去仕り候間此段御通知申上候

友親 人戚 總代代男

助茂郎郎治直郎

永々病氣中ノ處藥石効無ク三日午後三時

零下三十一度に達す

を明け頃は下る下る丁度等下の餘寒は亦格別で恰も11日のの餘寒は亦格別で恰も11日のの餘寒は亦格別で恰も11日のの餘寒は亦格別で恰も11日のの 入學難の 緩和陳情

年記念慶祝

第一區町內會

四平街の周

素晴しい

満鐵社會係が

家政婦の周旋開始

**周島低八十銭、最高二圓さし** らない、家政婦の給料は一日

三十一度余さ云ふ酸しい猛烈 は食事も振れぬさ云ふ酸しい猛烈 川組の水道部では朝外従業員 は食事も振れぬさ云ふ 多忙 さを現出して居た。大四中街 では朝外従業員 であれ、街崎に隣々たる有様

以老の一夜を過す

新京の孔子祭

だ 道行く人達の注意をひいて居 しであり、一般在端邦人も緊 極衰される筈であるがは局 **扱してゐる折さて解況を呈す** 

會から 公學校父兄 

追而葬式の儀は三月四8午後一時自宅用槍西本願寺にて非營み申倹月三日午前九時十五分死去仕候に付御通 知申上俟月二日十十八 人民兼て病氣療養中の處薬石効なく三

〒多數参列級かに講洲記述 w 数日來の降雪に掃き清められ 神社報告祭 午前九時半 一周年、報告祭が行はれた

富山縣入會 根 代 位

丽

友人總代

會場ヤマトホテル か方法はないさいつてるる電然受年度に繰延ばすより低

展

一日横濱を出帆したが同日出衛師町講護地方事務所長は二 楢崗氏出發

健国を祈る

の電報を寄せた 日本を離らるは感慨實に無日本を離らるは感慨實に無

ら掲出された。

國族は筆頭に旭日を師かせ乍

ルに姿を現はしましたそ

長曲梨樹縣長、澤井豪事官配 の下に満洲部萬歳を三哨して 表曲梨樹縣長、澤井豪事官配 掲揚式を終了した。

桃の節句に

やさしい慰問

婦人會や姐さん達までが

傷病兵を訪ふて

編十一時市民並に白系略人等 最市内を建國歌を合唱しつく 行進し禰洲街第一小學校庭に て解散した。 列 兒童就行刘午

年後元時より大同會館に於て日識官氏立推の余地なきまで多数列席鯉沿日本側に表の祝嗣の別讀のりて宴に移り日業美がの報館に盃をりな鯉沿、曲兩代表の線際是澤井参東官の祝嗣の別讀のりて宴に移り日業美がの報館に盃をりな鯉沿、曲兩代表のは野にて 日滿合同祝賀會端州國

日の日曜日は午前五時四十分西公園で日の出を拜する集ひ

集ひ

it the からであるき

日の出を拜する

情多の玉川から直輪人です。 未だ新京に好きな人ができな かな淋しくて騒りたいこいつ いてゐました間情してやつて なんでもうまいです 本精電軒 でかハルピッけ(ミウ々懇観 してのました人ここのスプチ シャも、 庭唄、あれ、これこでしてながく (のペツピンでもしてながく)のペツピンで 順天になってるた連中眉 との味に神能を癲痒させ て又盛んにエロを競散す

るい無子を安心して買くる言

を後れ、四五ニュース(略 を後れ、四五ニュース(略

これ成長系仙沼町に元六尺の【仙臺二日菱國番】・地震さ共

唐桑村 の

被害甚大

内は被害無し

現地へ

### 岩手 人震災被害の 宮城 最も甚しい 方面 のは宮城縣下

算な

記念品は八世副章 神一報次第型録書 本天木智別七八八 本天木智別七八八 本天木智別七八八

の關係無之候爲念右廣告仕候也

昭

れたい 岩

では二百餘戸倒潰縣下「部海岸地方に被害多き見込みで目下調査中波押寄せ家屋一千戸流失、宮古町にも十尺の津波起り浸水家屋多數、山田町地震と同時に釜石町に火災起り三百戸燒失地震後三十分頃、高さ十尺位の津

煖房●水道●衛生工事●佯灰加工

電話ニニ八三番・工塩ニ七六〇番

請負

東京三日發國通)

△浦川測候所報告 宮古海岸に四尺乃至七尺の波津襲來は告、氣仙村海岸浸水家屋千餘戸、死者二十五名、通)中央氣象臺午前九時半發表 签石海岸浸水

△秋田測候所報告 秋田測候所報告 地震後北方に雷光の如き光を見る弘前附近被害多じ、死者四名、家屋流失五戸、浸水家屋三十戸 七時半 まで

村上式完全燃燒無煙

誠實は交進社唯

の武器

告

(盛岡市三日殺國通) 0 力せ 岩手縣盛町警察署管內被害 る岩手縣 の狀况午前七時半までに判

被

△大船渡村 家屋流失四十戶、浸水による 家屋流失四十戶、浸水による 家屋流失四十戶、浸水による 本九戶郡宇部村 流失家屋 四十戶 △別伊郡田野畑村 流失家屋八十 △別伊郡田野畑村 流失家屋八十 △別伊郡田野畑村 流失家屋八十 ○別伊郡田野畑村 流失家屋八十 流失家屋八十戶 流失家屋八十戶 浸水による堤防崩壊一ケ所、家屋倒壊で子供二名行方不明 四十戶 死者七名 八十二月死者十二八十二月死傷者百四名 行方不明七名

各種印刷で製本

西脇洋行

園を頂載したいと存じます詳細は左記に御問合込を願います貸借の御約束が成立の上は約束金のゆくように改造致します御希望の方は三月二年上十二戸住居、中三間長四間程度住居、中三間長四間程度

即小賣 北原紙店

電話

市內三祭町三丁目十五番地

益

豐

店

か見はり血液循環治療院

新京曙町四丁目二番地野出電話二九二三番

支本店

死塲者未詳

死者十二名

行方不明四十五名

(以上號外再錄) 及び原屬を實刑脱線のため特別で現地には十一時半羽田から飛行機で現地に

が語)気象が和及協州語ニス度六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯 中央放送局編輯 後七、川〇ニュース(英

錢拾

の屋乃花いしいお 個  $\equiv$ THE REPORT OF THE PERSON AND THE PER

玉うざ

杉尾 商店

3 しま や吳服 店

士 吉野町 沼 田 丁目二番地 電話三七二八番

電話二五三五母

ウオツカミ 葡萄酒 からない

3

卸

長春美容院

製造所日本機踊り四四

ハイ

n

人事秘密探偵 綠談調查及紹介 取引先信用調查 **各種企業調查** 經濟事情能信 家尾及商品紹介 新京與信公所 全國各地同業聯絡 老公町十一番地損害豫防機關 密戦守



吉野町市場前ミクロ屋書店内 電話二三三一根

烹 ぜんざい 5 h. ぞうに そ は 町笠三京新

切叮嚀に治療致ます。是非一度御來院を輝闢ひ申ます自宅治療に限り全身治療(七十銭)小兒治療二十銭にて観の血液循環療法にて健康を御保ちを御顧ひ申上ます 五四四三話電

(型線維星)

陸軍諸官衙御用達 日本ペイント途科カーパイトシケラツ 日本ペイント途科カーパイトシケラツ 軍隊兵器手入材料揮發抽、酒精、染料、 營業案內

田中的會新支店 衛話 园 三匹五八番 衛話 园 三匹五八番 原語 园 三匹五八番



中央状況は編輯・中央状況は編輯・中央状況は130時報・東京後八、1310時報・中央状況は1310時報・中央状況は1310時報・中央状況は1310時報・中央状況は1310時報・中央状況は1310時報・ 不信用の 名は絶對に賣らぬ 告

ス ス フ

營業科目

右之者去る一 IES I 月末日限り退社仕り候間爾後當社とは何等 元外交員 本本 JII 田 福 類四 遗郎

昭和二年三月 新京北門外民政部前 交進社印刷工廠 電話三二六五番

一守口大根漬、

西

瓜ナ

ラ漬

新ナラ

渍

大根カ

り候間此儀御了承の上御引立の程伏て奉懇願候 社は左記四名を以て各位の御用命を蒙り居 を裝ひ金錢叉は原稿類を詐取せる者有之者 王

尚當社外務員

に開及び候當

行

美酒 御會料理席 佳肴

長乾

本

太郎

田

電話三四九〇番 電話三三番田商店

入 荷 ワイシャツ ネクタイ 中 ス 折帽子 テ 新京三笠町 電話三八六九番

執 篇 M 滿 所 處 院 I 術美級高一唯洲講 デダル 遺 製 問 專 號華金 版大•冒古6•康泉•建大王锡 七十七章縣山沙大内本



1933-2





















社會式株沼細 橋本日京東



善井 • 師本 町形人市京東



